

東北大学の技術職員による講演会 開催報告

技術第3班 伊藤眞子

1.はじめに

本センターでは、人材育成を教員と一体となって支援するために研修受講や教育研究の調査、開発および成果の発信を積極的に行っている。人的交流活動も通して技能・技術の向上と継承にも励んでいることから、この度東北大学の技術職員を招き、東北地区高専にも聴講をよびかけて講演会を開催したので報告する。

2.主催

鶴岡工業高等専門学校
教育研究技術支援センター

3.開催日時および会場

令和5年12月8日(金) 9:00~11:50
鶴岡高専 中会議室

4.講演スケジュール

9:00~9:10【開会挨拶】鶴岡高専
教育研究技術支援センター長
上條 利夫

9:10~10:20【講演Ⅰ】東北大学
多元物質科学研究所
技術室室長 相馬 出 様
「大学・高専技術職員の役割と安全管理」

10:20~10:30 休憩

10:30~11:40【講演Ⅱ】東北大学
多元物質科学研究所
ガラス工場 齋藤 雄二 様
「ガラス工場職員が関わる地域貢献」

11:40~11:45【総評】東北大学
総合技術部副部長
伊東 久美子 様

10:30~11:40【閉講式】鶴岡高専
教育研究技術支援センター
技術長 伊藤 眞子



講演Ⅰ 相馬氏によるご講演の様子



講演Ⅱ 齋藤氏によるご講演の様子

5.おわりに

参加者は対面で鶴岡高専技術職員等12名、山形大学5名、オンラインでは東北の技術職員計23名で、合計40名と盛会となった。相馬氏のご講演は技術職員の役割と安全管理に加えて、技術室室長という立場からキャリアや技術職員への第三者から見た立場など大きな組織にいるからこそ見えてくる本質という部分を感じる事ができた。また、齋藤氏のご講演により失敗を恐れず挑戦し続けることで得られる喜びや貢献といったことを学ぶ事ができた。参加して下さった方々も含め、交流だけでなく幅広い知見を学べたことに感謝を伝えたい。